



「親と子の論語塾」開校式
平成二十一年八月一日午前一〇時、弘道館正厅で「親と子の論語塾」の開校式が仲田副会長の司会で行われました。開校式には、茨城県知事橋本昌氏令夫人由美子様をはじめ、県水戸土木事務所長、県教育委員会教育委員長、同教育長、県立図書館長、水戸市長、水戸市総合教育研究所長、水戸商工会議所会頭、水戸観光協会会长、水戸東武館長、石州流水戸何陋会長、水戸青年会議所理事長など後援・協力団体の代表者、明治書院社長など多彩な来賓を迎えることができました。

久野勝弥理事による開式の辞と、和田会長の「親と子の論語塾」を開校する趣旨と経過を紹介するあいさつ(後掲)の後、来賓代表として二人からあいさつをいただきました。

弘道館管理者茨城県水戸土木事務所所長後藤和正氏は「弘道館は九代藩主徳川斉昭公が藩の学校として建てた。その後七男の慶喜公もここで論語を学んで、江戸時代から明治時代へ橋渡しをする大政奉還という大事な仕事をした。皆さんも一生懸命論語を勉強して世のためになる人になつてください」と期待を述べられました。加藤浩一水戸市長は、「国的重要文

「親と子の論語塾」開校式



安岡定子先生は「楽しさやりたい。難しい事は何もないのに、一時間すつきりした形で帰れるようになりたい」といっています。この教室には大勢の人が、力を合わせていてください。皆がみんなのために支えてくださる。みんなが元気に楽しく三月まで過ごすことが恩返しです。どうぞよろしく」とあいさつされました。

その後、弘道館の使い方についての注意、と受講生の決まりの申し合わせがあつて、開校式を終了しました。

和田会長あいさつ

「親と子の論語塾」開校式にたくさん的人に来ていただきありがとうございました。今から二千五百年前の中国に孔子といふ人がいた。その人の言葉がいまだに残す。

化財である弘道館で、先人たちと同じように子供が学べるのはうれしいことです。論語には親と子の関係、友達関係だとか素晴らしい言葉があります」と意義を強調されました。

次に、二年前から東京の自分の会社で安岡先生の論語を読む会を主催している伴充弘

本会論語委員会委員長が「先生のおじい様は安岡正篤先生とおつしやいまして、中国の古典の学問に深く御造詣を持ち、歴代の内閣総理大臣の先生役でもございました」と講師の紹介が行されました。

弘道館は天保十二年に建造、八月一日に仮オープンしたわけであります。それを記念いたしまして、一六八年後の本日八月一日、開校することは大きな意義があります。

梅は長い冬の中、春に先駆けて咲く。

水戸のさきがけ精神もここからきているのかなという風に思います。また梅は「好文」と言いまして、文を好むと書くのですが、中国ではそのように言つてゐるそうです。学問を好むということでは、梅と弘道館と偕楽園とみな結びついている。

水戸藩が水戸徳川家によって四百年前にできまして、弘道館・偕楽園・梅を誇りにしている。この伝統をわれわれは発展させたいと思つてゐるわけであります。

論語を始めたいという気持ちが大事であります。今我々の生きる道が混とんとしているわけであります。論語を通じまして、これから生き方などを考えてみたい。楽しくどうぞ論語を読み、大きな声で素読をしていきたいと思いま

つて学ばれています。弘道館は貴重な歴史的施設ですが、若き日の十五代将軍徳川慶喜公が論語を学ばれた。

会では、偕楽園の梅林を日本一にしようと市民の皆様の賛同を得て苗木を育て、今年の春の植樹祭の折には、

偕楽園の梅の品種が約四〇〇種類に到達しました。この事業のめどがつきました。次はこの弘道館を使いまして、論語塾をするという新たな事業に取り掛かったわけであります。

「親と子の論語塾」第一講

行事報告

講師

安岡

定子氏

一九六〇年東京都生まれ。一松学舎大学文学部中国文学科卒業。安岡正篤師の次男正泰氏の長女。現在、銀座寺子屋「子ども論語塾、文の京」こども論語塾等都内のかに宮城県塙釜市、宮崎県都城市、京都府京丹後市等全国各地で定例講座は一一教室に及び幼い子供たちやその保護者らに『論語』を講義して話題を集めている。著書に『素顔の安岡正篤』、『絵でみる「論語」』、『親子で楽しむこども論語塾』、『親子で楽しむこども論語塾その二』がある。

最初に正座して、号令に合わせて「氣をつけ。礼。」のあいさつ。

いろいろ聞きます。最初は年齢、一年生、二年生・・・中学生、幼稚園。なかなかバランスいいですね。論語や孔子について聞いたことがある人。あまりいないですね。困ったこと、悩んだことがある時、相談する人がいる人。困った時相談するのは、お父さま、お母さま・・・。ぱつと手が拳がつながる人もいる。いるんだけど拳がつかつた人もいると思います。そういう風に困ったこと、悩んだことがあるとき相談する人の顔が浮かぶ人は幸せです。そういう人に出会っているということは幸です。孔子先生というのは二千五百年前に中国で生まれた人です。相談



最初に正座して、号令に合わせて「氣をつけ。礼。」のあいさつ。

いろいろ聞きます。最初は年齢、一年生、二年生・・・中学生、幼稚園。なかなかバランスいいですね。論語や孔子について聞いたことがある人。あまりいないですね。困ったこと、悩んだことがある時、相談する人がいる人。困った時相談するのは、お父さま、お母

さん。ぱつと手が拳がつながる人もいる。いるんだけど拳がつかつた人もいると思います。そういう風に困ったこと、悩んだことがあるとき相談する人の顔が浮かぶ人は幸せです。そういう人に出会っているということは幸です。孔子先生というのは二千五百年前に中国で生まれた人です。相談

ごと請負人です。とつてもお勉強良くして、世の中のことをよく知っています。でも先生のすごいのは、よく知っているだけではなくつて、人としても素晴らしい。困ったことがあると先生に聞きに行きます。先生はちゃんと答えをくれます。相手が違うので答えは違います。それで実行してみます。そうするとうまく行きます。いいアドバイスをくれた人。そればかりでなくその人がとつても優しくつて、とつてもあつたかくつて自分の好きな人だったらまた会いたいと思いませんか。

言葉もとつても素敵です。言つていることも大切なことをたくさん言っています。でも、一番大切なのはその人が持つている人としての魅力が一番。どうして論語という本ができるのでしょうか、今だと色々な記録の方法がありますが、孔子先生の時代は何もないで、いまみんながやつていてるよう真剣に聞いて、先生の言葉を頭に入れていくしかないですね。先生どんなこと言つたのかなと覚えていくしかないですね。それをお友達同士で話して、忘れないようにします。

ついで、先生が死んで百年、二百年たつてから、若いお弟子さんたちが僕が聞いたのはこんなことがあります。それが聞いたのが論語の本です。先生の言葉がおよそ五百入っています。孔子先生が作った本ではない。



論語の学び方

最初にみんなに質問しました。「今質問できる人がいますか、困つた時に助けてもらえる人がいますか、困つた時に助けてもらえる人がいますか。」

それではさつそく読みたいと思います。素読は私が最初に短い文章を読みます。それをみんなが繰り返します。また私が言います。みんなが言います。それの繰り返しです。

わたしが言つたのを耳でよく聞くります。聞いたたら、聞いた通りに繰り返します。それが素読です。ですから小さい子でもできる。それから読むテキストを全員が同じものを持つていなくてもできるのが素読のいいところです。

それからもう一つ、なにも考えなくて言葉からそういう力をもらいうことができます。それから人じやないようになります。

素読の仕方

れるというのは、一生懸命頭を使います。考えることはいい結論がいつも出るわけではないです。悩んでいるのも考えること、迷うのも考えること。その時に助けになる人がいる、言葉があるということが大切です。いく人が助けてくれても、いい言葉をたくさん知つても、自分で実行できなかつたら役に立ちません。考えてそれが実行できるようになること、それが私の願いです。

それから最後に一番大切なこと、姿勢を良くすること。素読をしまずと言つたら、一番いい姿勢になつてください。背筋が伸びるようになります。正座をしたほうが背筋が伸びるという方は正座を。あぐらをかいたほうが、背筋が伸びるといふことです。

今年度論語塾のようす

親と子の論語塾の当初の申込者は七一家族一三八名でした。その後毎月の会に参加者が増えて、三月現在では、九三家族一八〇名になっています。

今年度の塾は、第一回（八月一日）

第四回（十一月七日）が弘道館正庁、第五回（十二月五日）と第七回（二月六日）が茨城県三の丸庁舎の茨城大学インフォメーションセンター、第六回（一月十日）と第八回（三月六日）が県立図書館

会議室で開かれました。

弘道館での論語塾は弘道館正庁の畳

に敷物を敷いて座り、正座でごあいさつし、テキストを手に持つて先生の説明を聞き、先生の声に続いて背筋を伸ばして素読を行います。グループを募つての素読や、前に出ての素読もやります。暗い照明、エアコンなしの室温の中で、なれない姿勢で、やつたことが少ない素読はなかなか厳しいものがありますが、慣れてくると、一種の爽快感もあります。

寒くなつてからは、県三の丸庁舎と県立図書館での論語塾です。机と椅子があつて学校の教室のようですが、教科書と黒板を使つた普段の勉強でなく、よく聞く聞き、大きな声で素読する。

その繰り返しの中で、何かを学ぶ。

十一月の論語塾の様子は



第5回 前に並んで素読

参加者アンケートより

第六回の一月十日に参加者からアンケートで御意見を伺いました（回収三人）。

「本日の内容はいかがでしたか？」に、大満足一七人、満足一一人（無回答三）で、大変満足されています。

「本日の参加動機をお聞かせ下さい。」に、論語に興味があつた二〇人、子供の情操教育一五人、ご自身の研鑽二人、その他一人で、子供だけでなく大人にも期待され、歓迎されていることがわかりります。

「次回以降も参加したいと思いましましたか？」に対して、是非参加したい二三人、時間が許せばが八人でした。

自由な意見として「人間性を深める

ことができる（落ち着いた人生観をつかむことができそうです。」とか

「素読中心、そして、説明もよい（論語も興味がもてる）。」など、具体的な魅力も書かれています。



第7回 親子で素読

取材を受けて、十一月十日の「とくダネ！」という番組で「とく撮 子供論語 人気の秘密」と題して全国ネットで報道されました。

塾生の「なんか好き」、「みんなで揃えて大きな声を出すのが楽しい」という発言がとても印象的でした。十二月五日の教室終了後鑑賞しました。

では、どこを読むかというと一番最後の五六ページから参ります。子のたまわく・・・「学んで時にこれを習う」・・・「またよろこばしからずや」・「朋あり遠方より来る」・「また楽しからずや」・「ひとしらずしていきどおらず」・「また君子ならずや」・

↓方はそれでもいいです。背筋を伸ばすことが大切です。人間は不思議なものでいい声を出そうとすると必ず背筋が伸びてきます。

た。

報道されましたが、塾生の「なんか好き」、「みんなで揃えて大きな声を出すのが楽しい」という発言がとても印象的でした。十二月五日の教室終了後鑑賞しました。

最初に読む所

では、どこを読むかというと一番最後の五六ページから参ります。

でも一人だとくじけちゃいます。

人でくじけそうな時もお友達いたら、ちゃんと乗り越えられるかもしれません。

一生付き合つていける同じ志を持ったお友達がいたら、なんと素敵ですね。

う。それが二つ目。

三つ目が大切です。みんなはがんばつているのにがつくりつてこと、一生懸命やつているのに認めてくれない、

こういうことはうまくなりたくなります。それも見えないからつて止めますか。止

めないね、その通り。それは好きだから好きつていうことはうまくなりた

い、目標があるから。誰のためでもな

く、自分のために努力することが大切

ですね、そういうことができることが

あります。さつき論語は孔子先生の言葉

のページから始めたのかをお話

構いますね。

なぜ一番後ろ

のページから始

めたのかをお話

します。さつき論語は孔子先生の言葉

を五百集めて作つたといいました。そ

の一番最初の文章がこれです。皆さん

に持つていただいたテキスト、その最

後に持つてきました。とっても大切で

解説をたくさんつけたかつたからで

す。でも本当は論語の最初に出てくる

一番大切なところです。

今何か熱中しているものあります

か。好きな物でもいい。野球だ、サッカーやつての勉強かな、お稽古などを心

に浮かべる人がいると思います。今、心



（小見出しと要約は大槻

日毎朝から晩まで練習するからうまくなる。やればいつかうまくなる。これが最初の現象。

そうするとうれしいです。毎日教わったことを繰り返しやつて復習し、継続してやつていくと、できる瞬間がきます。そういう瞬間を味わえたならなんと素敵でしょう。

でも一人だとくじけちゃいます。

人でくじけそうな時もお友達いたら、

ちゃんと乗り越えられるかもしれません。

一生付き合つていける同じ志を持ったお友達がいたら、なんと素敵ですね。

う。それが二つ目。

三つ目が大切です。みんなはがんばつているのにがつくりつてこと、一生

懸命やつているのに認めてくれない、

こういうことはうまくなりた

い、目標があるから。誰のためでもな

く、自分のために努力することが大切

ですね、そういうことができることが

あります。さつき論語は孔子先生の言葉

のページから始

めたのかをお話

します。さつき論語は孔子先生の言葉

を五百集めて作つたといいました。そ

の一番最初の文章がこれです。皆さん

に持つていただいたテキスト、その最

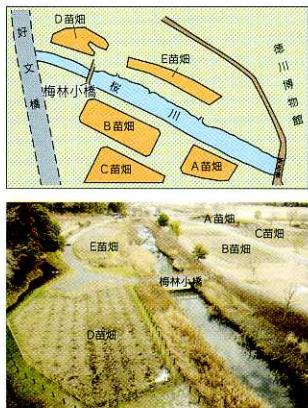
後に持つてきました。とっても大切で

解説をたくさんつけたかつたからで

す。でも本当は論語の最初に出てくる

一番大切なところです。

平成梅林整備事業の現状



平成梅林の現状

A 苗畑（二十年度植栽）

当初の劣悪な土壤と滯水の影響が見られ、数本の枯損があります。

B 苗畑（二十・二十一年度植栽）

二年度植栽の苗木はおおむね順調な生育ですが、二十一年度植栽の苗木は育苗期のばらつきがあり、数本の枯損が見られます。

D 苗畑（二十一年度植栽）

湧水地に近接しているためか同時に植樹したにもかかわらず、生育が順調です。

E 苗畑（二十一年度植栽）

植樹は少数ですが、順調に生育しています。

予備苗木を含む全植樹本数八五〇余本のうち現在までの枯損（半枯れ）は一〇数本約二パーセントにとどまっています。

平成梅林には、会員による二回の除草作業、役員による施肥と薬剤散布、雑草刈り払い、苗木の誘引と剪定名札の付け替えなどのほか、業者に委託しての刈り払い、薬剤散布、施肥、灌水が入念に実施されています。

PPVの危険

平成二十年四月東京都青梅市でプラム系植物に大きな被害を与えるPPV（ラム・ボックス・ウイルス）が発見されました。会が青

梅より入手した梅苗にも発生の懸念があり、農水省関連機関の立ち入り調査の結果、三本が撤去され、今後三年間移動禁止の指導がありました。

全国の人々から寄せられた支援で収集した貴重な梅の苗木を守るために、今後とも疾病発生についての監視を継続的に強化しなければなりません。

第三回植樹祭

二月十三日（土）に平成梅林苗畑で植樹祭を開催しました。今年度は二三品種、約六〇本と苗木数が少なかったので、外部に呼びかけることなく、役員のみで実施しました。

当日は幸い晴天で、役員一八名と県の関係者五名が参加し、E苗畑に植樹しました。これで合計約四〇〇品種になります。



募金事業の現状

平成二十一年度二月二十八日現在
基金合計八六八、〇四〇三円

平成梅林募金新規協力者（平成20年1月～21年4月末）

水戸市 浅川 東荒池原石田市河糸井（トワインクルフード） 岩崎下田瓜潤木大高鷹谷大和田小沼学之加神尾神永 昌洋秀憲まちと正利豊次仁志才久 ヨーボレーショーン） 雄一郎由加里広清康正樹美信代子郎与志子一郎光嵩巧子和肇

久和千重一洋和枝人一子一洋実悟一司之子人文枝広史一利雄彦忠一洋生太寛博敬重貴敏義弘良昭和一秀和理崇真健綾ト浩美孝晶能文井早綾謙雅英代喜田知夫美能明博哲典夫

和子直拓理香之弓一子メ和子一子昌誠男博宏敬子鐵東乃一広英子賀正み理充正俊明久美咲和子豊樹行亮忍夫美夫実孝宮彦ゆ理充正俊明久美咲和子

廣木谷谷嶋橋井谷谷田崎浦杉野橋戸所戸田和田本横吉和田田下澤澤島田中白烟濱久平平廣木和子

和田三上（㈱アサヒビール茨城） 谷田部（同） 河須高長古木三上渡山口ひたちなか市分那珂市國分那珂郡宇留野富藤田宇澤田富藤田宇都畠高橋名取秀子貴子良子栄子

笠間市 一柳斎高安市市佐田富坂野太田市井海畠他市町村 磯野紀代子（鹿鳴市）田仲正一（北相馬郡利根町）岡村真幸（桜川市）樺村洋（つくば市）工藤英美子（つくば市）

平成21年5月以降は次号にて

行事報告

第4回大名庭園サミット・偕楽園を楽しむ!



十月二十三日と二十四日の二日間にわたって東京の文京シビックホールで第四回大名庭園民間交流協議会が開催され、水戸からは五名が参加しました。

小石川後楽園涵徳亭での幹事会の後、午後二時から文京シビックセンターで総会が開催され、主催者・来賓あいさつののち、テーマ「水の文化と庭園」に沿つて、五団体の代表者が報告されました。

本会からは、和田会長が「偕楽園公園 水を活かした街づくり」と題して、偕楽園の水文化の象徴

吐玉泉と日本で最初の噴水と見られる玉龍泉、千波湖と桜川から南門に至る創設時のルート、さらに光圀公が作つた千波湖の柳堤、笠原水道など水戸城下町と水とのかわり、最後に現在の偕楽園大規模公園計画について発表されました。

次いで基調講演として協議会顧問の進士五十八氏による「江戸の庭園と都市に学ぶ」の講演がありました。

夜の交流懇親会は、東京ドームホテル

全員で記念写

大名庭園サミット東京大会

十月二十三日と二十四日の二日間にわたって東京の文京シビックホールで第四回大名庭園民間交流協議会が開催され、水戸からは五名が参加しました。

小石川後楽園涵徳亭での幹事会の後、午後二時から文京シビックセンターで総会が開催され、主催者・来賓あいさつののち、テーマ「水の文化と庭園」に沿つて、五団体の代表者が報告されました。

本会からは、和田会長が「偕楽園公園 水を活かした街づくり」と題して、偕楽園の水文化の象徴

吐玉泉と日本で最初の噴水と見られる玉龍泉、千波湖と桜川から南門に至る創設時のルート、さらに光圀公が作つた千波湖の柳堤、笠原水道など水戸城下町と水とのかわり、最後に現在の偕楽園大規模公園計画について発表されました。

次いで基調講演として協議会顧問の進士五十八氏による「江戸の庭園と都市に学ぶ」の講演がありました。

夜の交流懇親会は、東京ドームホテル

全員で記念写

真。

翌日早朝の小石川後楽園散歩、午前中の大会記念公開シンポジウムで陣内秀信氏の「江戸東京に水と緑と文化の回廊を」と題した基調講演を受けて三名のパネラーによる発表と意見交換がありました。午後はコースに分かれてのエクスカーションで小石川後楽園ほかのガイドで名所史跡を散策しました。

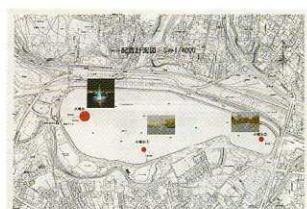
緑したたる偕楽園ウォーキング

七月五日緑したたる偕楽園ウォーキングに期待した雨は無かつた。ウオーキングに雨はないほうがよいのだから、期待した雨は実はヘンなのだ。かつて私はこの季節一人で偕楽園を訪れ、園内の緑の見事さに感動した。独り占めの偕楽園には、雨にぬれた美しい緑が。

梅雨時だから歴史を離れて生物からと小菅副会長に紹介していただいた海老沢貴子先生の専門性の高い案内が和田会長はじめ三〇名の参加者を虜にした。普段特に感じないケヤキにも、トウサンボクにも、竹にさえ興味深い解説がつた。参加して得をした気分。

(川上清記)

投稿 千波湖整備計画について



偕楽園公園を愛する市民の会の偕楽園および千波湖との周辺の環境と発展についてのコンセプトは、既存市街地との連携、人工的なものを少なくし、自然景観の保存と歴史的景観の保存である。

県が一九八六年、偕楽園公園の具体的な整備計画の長期的な展望を検討するため設置した「千波湖周辺整備計画懇話会」がまとめた『水と緑と歴史の街づくり』の基本コンセプトは①国際庭園モデル都市・・・都市の機能と景観の調和、

②街の融合と一体化、③地域の活性化と結びつける、である。その結果公園は自然公園とし、各種イベントなどに伴う臨時施設の建設しか行わないことになり、その後何度も開催された利用促進のための懇談会・委員会でもその方向が守られてきた。

今回水戸市が実施した人間工的な鉄筋コンクリートの新好文茶屋とライトアップされる噴水は、今までの一貫した整備計画と余りに

ない。偕楽園から見た風景は自然がいっぱいの類いまれな景観である。

「水と緑」の都市、水戸市のシンボル千波湖が、市街地の中心部にあって開発の好位置にあるにもかかわらず、今も残っているのは奇跡であり、それは偕楽園があるからであり、茨城県民が偕楽園、千波湖を愛していたからもある。

偕楽園とその背景の千波湖は斎昭公によって選定、作られ、沢山の方が守ってきた県民の貴重な財産であり、また私どもの心象風景である。

「景観十年、風景百年、風土千年」と言われている。景観が十年たつと風景になり百年たつと風土になる。水戸の地域ブランドである偕楽園 千波湖 弘道館は百七十年近く経過し、まさに水戸の風土となつている。

景観はその地域の戦略そのものであり、環境は人間の五感でとらえる景観である。それが風土になる頃には遺伝子そのものになる。私達が目で見てとらえられる、心で感じられる地域アイデンティティー、すなわち地域における景観を、ほかの人々が羨むようなものに、誇れるようなものにする。目に見える環境と景観を地域(水戸)の遺伝子にする。それが水戸の戦略ではないか。

文責 和也

平成二十一年十二月投稿・平成二十二年一月十日役員会承認

弘道館・親と子の論語塾

『論語』は名文・名言の宝庫です。古くから日本人の心の拠り所となつてきました。思いやりやおもんばかる心を持ち、やり抜く強い精神力を育んでくれます。弘道館は天保十二年(一八四一年)第九代藩主斎昭公によつて創られた藩校であります。先人たちの学んだ、歴史あるこの地で、真剣に樂しく、お子さんと一緒に『論語』を読んで見ませんか。

主催 偕楽園公園を愛する市民の会

開講日時 平成二十二年四月三日

開講式 十時

授業 十時三十分～十一時三十分

場所 弘道館正序

講師 安岡定子氏

以後、毎月第一土曜日

十時三十分～十一時三十分

五月一日、六月五日、七月三日、八

月七日、九月四日、十月二日、十一

月六日、十二月四日、一月九日、二

月五日、三月五日

・テキスト『こども論語塾』『こど

も論語塾その2』(明治書院刊)一

五〇〇円(税別) 当日会場で販売し

偕楽園を歩いて知る

①二十二年七月四日(日)九時 歴史館集合

緑したたる偕楽園ウォーキング五km

②二十三年一月二日(日)九時 桜山駐車場集合

新春の偕楽園ウォーキング五km

③二十三年三月六日(日)九時 水戸駅北口集合

偕楽園の観梅ウォーク 七km

連絡担当・川上

清

第五回通常総会

平成二十二年度通常総会を先のよう
に開催します。ご都合のつく方はご出
席ください。

・日時 四月十七日(土)十三時三十
分～十四時二十分

・場所 茨城県立歴史館講堂

・平成二十一年度活動報告、平成二十
二年度活動計画、規約改正、役員補充

記念講演

・演題 「偕楽園の梅について」(仮)

・講師 吉田雅夫氏(日本梅の会幹事
元宇都宮大学教授) 予定

・十四時三十分～十六時

〒311-4143水戸市大塚町九九三一七
Fax ○二九一五一三三四六

大名庭園サミット高松大会

テーマ・大名庭園の樹木と保存

期日 二〇一〇年十月二十二日(金)
～二十三日(土)

場所 栗林公園・サンポート高松・玉

藻公園(高松城址)

第一部 基調講演・構成団体の事業

報告と研究発表

第二部 玉藻公園案内

第三部 交流懇親会

第四部 栗林公園案内

第五部 エクスカーション三コース

本会の参加

●三〇名を目標として、参加します。
詳細は申込者に後日連絡します。

・申込締切：七月三十一日(予定)

・連絡担当：湊 正雄

Tel 310-0845水戸市吉沢町二二二三
Fax ○二九一四七一〇四三八

偕楽園なんでも百科編集中

会では偕楽園パンフレット「偕楽園
なんでも百科(仮)」を今年夏ごろの刊
行を目指していきます。

偕楽園の案内は、毎年梅まつりの觀
光客を対象に水戸観光協会などが発行

していますが、一般向けのやさしいパ
ンフレットはありませんでした。この

本で、梅だけではない偕楽園の魅力を
知つてもらい、四季にわたって多様な
楽しみ方を提案します。

小学校中学年以上を対象に、写真や
図を多く載せて、わかりやすく、親しみ
深いものにします。

平成梅林整備推進事業

苗畑の管理

苗畑の管理作業のうち、剪定・施肥・
薬剤散布など技能や器具を要する作業
は業者に委託せざるを得ませんが、除
草作業は会員参加で実施します。

●期日 六月～九月に二～三回程度
役員及び協力希望者に電話・ファッ
クスで連絡

●作業内容 除草・その他

●作業内容 除草・その他

●作業内容 除草・その他

●作業内容 除草・その他

●梅苗守募集

・作業に協力する意思をお持ち方は左
記までに連絡下さい。

連絡担当：後藤 詮司

Tel 311-0913水戸市見川町一一二〇〇
Fax ○二九一四七一九四七

入会と募金の御案内

◆随時入会・募金を受け付けます。
申し込みは事務所あるいは知り合いの役員まで。

◆会費は年1,000円
募金は1口2,000円

事務所：水戸市末広町2-2-10
祐月本店内 〒310-0053
Tel: 029-222-1117
Fax: 029-222-1116

ホームページ
<http://www.kairaku-en.jp/>